

あすならホーム畝傍 グループホーム 運営推進会議議事録

開催日時	2025 年 5 月 16 日（金） 10：00～11：00																
運営推進会議メンバー （参加者）	1．利用者、家族：1 名 2．地域代表：3 名（民生委員会長）、（まちかどネット畝傍）（地域住民） 3．市・包括職員：1 名（橿原市地域包括支援センター 南エリア） 4．職員：5 名																
利用者登録状況 （5 月 1 日現在）	<グループホーム入居者の介護度> <table><tr><td></td><td>要支援 2</td><td>要介護 1</td><td>要介護 2</td><td>要介護 3</td><td>要介護 4</td><td>要介護 5</td><td>合計</td></tr><tr><td>1 月</td><td>0</td><td>3</td><td>2</td><td>6</td><td>3</td><td>0</td><td>1 5</td></tr></table> ※平均介護度は 3 の状況		要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	1 月	0	3	2	6	3	0	1 5
	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計										
1 月	0	3	2	6	3	0	1 5										
報告事項	◎ホームの取り組み 1．参加者の数名は、運営推進会議の参加が初めてとなる方がおられるため、あらためて「運営推進会議」、法人「社会福祉法人協同福祉会」及び「あすならホーム畝傍」の概要を説明した。 2．地域貢献活動について サロン活動 （1）ランチ企画 月 6 回（0 と 5 のつく日）実施。 ①目的…家での閉じこもり生活を開放し、社会性を保つと同時に、栄養状態の維持・改善に寄与する。 ②運営 1）新型コロナウイルス感染防止に留意。2）自宅での閉塞感の解消と健康づくりのため、リハビリ体操と口腔体操に取り組む。 3）暮らしの知恵を学び、生活に役立てるため、毎月テーマ「ヒートショック予防」などを決め、学習や情報提供に取り組む。 ③現状…毎回、17 名前後の地域の方が参加。 つながり連絡員制度 ・安心を届けるため、サロン活動へのお誘い、安否確認（脱水・熱中症、自然災害） 学習会・その他 （1）春と秋の「あすなら学習会」を春 3 回、秋 4 回実施。お役立ち情報の学習、あすならホーム畝傍の喜ばれた事例紹介、ならコープの商品紹介、意見交流。 ・春の学習会日程 4 月 25 日（金）、5 月 17 日（土）、6 月 18 日（水）、6 月 30 日（月） （2）福祉講演会（法人）…毎年、年 2 回開催。 （3）福祉学習会（法人）…年 4 回程度、テーマを設定し県内各地で開催。 （4）買い物支援…買い物に不便さを抱える人のために、ならコープの商品を積んだトラックが週 1 回（土曜日）、「移動店舗」が巡回。 （5）ユニバーサル就労…精神的・社会的な要因で就労に困難を抱える方に対する就労支援。2 月から、新規の就労者を受け入れる予定。 3．橿原市地域包括ケアシステム連絡会の取り組み （1）当会は、地域包括ケアシステム構築のため、橿原市内の地域密着型サービス事業所が連携し、学習や交流を通じて、職員のケアの質の向上、事業経営・																

	運営の能力の向上を進め、樫原市民に貢献し、住み慣れた地域で安心して暮らせることを目指す。2021年12月17日発足。主な活動…事業者間の学習、交流。年4回程度。 (2) 2024年8月30日学習会開催。テーマ「認知症の人の意思決定支援、ACP」（講師：加納麻子医師＜社会医療法人平和会吉田病院＞）。参加23名。 (3) 2025年1月28日10:00～12:00講演会。テーマ「認知症のある方が住み慣れた街で安心して暮らせるために備えたい理解」（講師：大石 智（北里大学医学部精神科学 講師）。参加80名。 4. 利用者に対する取り組み…「たより」参照 (1) 入居者の様子 ①お出かけ… 原則、制限なし。ただし、感染防止に留意。できるだけ、密な場所は、避ける。 ②お手伝い（お役立ち）[自立支援]…掃除、洗濯もの干し・たたみ、食器洗い・拭き。 ③おやつ企画、食事企画 (2) 重大事故 発生なし (3) 取り組み状況と今後の取り組み ①4月には順番に駅前や樫原市の桜並木をお花見に行きました。 お天気がいい日が多く皆さんお花見に行くことができました。 ②4月に1名の入居者さんの看取りケアをおこないました。
今後の予定	◎ホームの予定 (1) 新設の看護小規模多機能型居宅看護サービス及び新サロンスペースは、2025年6月事業開始予定。 (2) 春のあすなら学習会 日程：4月25日（金）、5月17日（土）、6月18日（水）、6月30日（月） 時間は10:30～12:00
評価・要望・意見等	1. 利用者・家族 ・利用者本人から挨拶を頂いた。日中は食事前後のお手伝いや洗濯物の片づけを手伝っています。ゆっくり本を読んだり、みんなでお話をしています。 2. 地域代表・地域住民・行政 ・入居施設は待機者になることが多い。空いているかどうかはタイミング次第なところが多いと思う。空いている時は発信をしてください。
その他必要な事項	◎身体的拘束等の適正化のための対策を検討する委員会等 1. 2016年7月から業務会議の中で、定期的に虐待防止委員会（2023年度：半年に1回）、身体拘束適正化委員会（2023年度：3か月に1回開催。）を開催し、入居者の行動を制限するような事例の有無を報告している。また、虐待防止及び身体拘束適正に関する学習（2024年度：年2回＜①6・7月（個人情報保護含む）②2025年2月＞）を実施。 2. 2016年7月以降、緊急やむ得ない場合も含め、2025年3月現在、入居者・利用者の行動を制限するような事例は発生していないことを報告した。

次回開催予定：2025年7月18日（金）（場所：あすならホーム畝傍 新サロンスペース）